

氏名： 米田 俊彦
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
職名： 教授
学位： 教育学博士（1989 東京大学）
専門分野： 日本教育史（教育制度・政策史）
E-mail： yoneda.toshihiko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

教育法制史／定時制高校
history of law on education / part-time high school

◆主要業績

総数（3）件

- ・米田俊彦『近代日本教育関係法令体系』（港の人、2009年9月）
- ・古沢常雄・米田俊彦編『教育史』（学文社、教師教育テキストシリーズ第3巻、2009年10月）

◆研究内容 / Research Pursuits

これまで10年ほどかけて編纂してきた『近代日本教育関係法令体系』を刊行することができました。大日本帝国憲法・各学校令制定前後から日本国憲法・教育基本法制定前後までの旧教育法を、一部抄録としつつ、主要なものの改廃を含め、すべて収録して、分類・体系化したものを編集しています。来年度中に刊行の予定です。近代日本の教育法体系の構造や本質を明らかにすることを目的としています。

一方で、戦後教育史、とりわけ農村地域に多数展開し、1960年代にほとんど消滅した定時制高等学校（分校）の研究を、長野県を事例に進めています。

I published "System of laws and ordinances in modern Japan". I collected and classified laws and ordinances promulgated in the period from the end of 19 century to the end of the World War. I want to explicate the structure and nature of system of education law in modern Japan.

I am investigation part-time high school in rural district established after World War.

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部・大学院のいずれにおいても教育史、教育制度論などの授業を担当しています。専攻科目のほかに教職課程の授業も行っています。担当した卒業論文の題目は「幼保一元化論の歴史的展開」(2008年)、「公立学校という枠組みの中でのコミュニティ・スクールのあり方」「幼稚園教員養成の歴史」「母親に対するまなざしの変容? 「教育ママ」 関連記事の分析から?」「養護教諭が行う性教育」(2009年)、修士論文の題目は「戦後教員養成の二年課程の考察」(2008年)、「戦前日本における幼稚園・保育所の普及と地域差の実態? 石川県を事例として?」(2009年)でした。

I am teaching subjects about the history of education or the system of education in the faculty and the graduate school. I teach subjects of teacher-training course, too. I led students who wrote graduation theses "The Historical Changes of the Argument on Unification of the Education in Kindergarden and the Nurture of Day Nursery" (in 2008), "The community School as Public School", "The History of Training for Teachers of Kindergarden", "The Change of Eyes th Mothers :through the analysis of articles of newspaper on 'Kyoiku-mama', "The Sex Education by Nursing Teachers" (in 2009), and a master's theses "the 2 years' training course of teachers in post World War ?" (in 2008), "Real State of the Spread of kindergarden and day nursery and its variations among differnt areas(in 2009) .

◆研究計画

戦後の定時制高校の研究は、財団法人野間教育研究所における共同研究として、また同時に本学のグローバルCOE拠点にかかる研究として、少しずつ成果を論文にしていく予定です。

◆メッセージ

教育史は、古いことを覚える学問ではなく、過去の経緯の中に、現代と将来の教育を考えるポイントを見いだす研究です。経緯や流れの中に本質が潜んでいることは意外にたくさんあります。